

- 地人書館.
 5) 田口竜雄集成, 1943: 地人書館.
 6) 保柳睦美, 1962: 現代地理学体系第1部第2巻, 気候学, p.360. 古今書院.
 7) 山本武夫, 1965: 先史および歴史時代における日本気候の変動の概観, 気候変動研究ニユース, No. 1, p.19.
 8) 赤井清康, 日本の寒さの長期的変動の研究 (その1) 西部管区研究会誌25号(1964) 29—31 (その2) // 26号(1965) 145—150 (その3) // 27号(1966) 49—52 (その4) // // 53—56

理事会だより

第14期 第14回 常任理事会

日時: 10月9日(月)15時~19時30分

場所: 気象庁予報部長室

出席者: 畠山, 岸保, 朝倉, 神山, 小平, 北岡, 須田, 大田. 各理事

報告

- (1) 朝日賞候補推せん方照会があり, 学会賞推薦委員会で検討するよう依頼した。
- (2) 前回の理事会で決ったアメリカ気象学会との共同主催による Special Meeting の推進について, 畠山理事長が藤田哲也氏に連絡した状況報告があった。それによれば, 米気象学会の方も10月15日の理事会で細かい点を審議する予定とのことであるが, テーマや開催時期について当方の希望があれば聞きたいと言うことで, これについては更に検討して返答することになった。

議題

1. 臨時総会に関連する事項
 会費の値上げの必要性は, 理事会では前々から問題として検討していたが, 全員に対して, PR不足の感もあったので, 総会までに, 各職域の理事, 地方理事, 監事などにPRして頂くよう理事長より依頼する。
2. 文部省科学研究費配分委員の推せんについて 従来, 地球物理関係から坪川, 山本(義)両氏出ていたが, 山本氏が交替期にあり, 次の委員の候補者の

推せんを, 文部省から求められている。

常任理事会としては, 磯野氏を候補とする案で, 全国理事の意見を文書で聞いて, その結果により, 理事長から回答することになった。

3. 気象用語について

レーダーは, 電子工学関係では, レーダに統一しているが, 気象学関係では, どうするか審議され, 小平理事が, 資料を集めて次回の理事会に提出, その場合, 審議の結果改正を適当とすることになれば, 気象用語改正を正式に提案することになった。

4. 常任理事の辞任申出について

吉野常任理事から, 11月渡欧, 6ヶ月間留守になるので常任理事を辞任したい旨申出があった。

常任理事会は, これを承認し, 定かんにより前回の選挙における次点者小倉義光氏に常任理事就任方, 理事長より連絡することになった。小倉氏には吉野理事の担当業務を引継いでもらうことになった。

その他

山元理事より配布された「災害科学総合研究班と自然災害科学研究の拡充強化案について」について懇談的に議論された。

また, 学術会議会員の登録の推進を計るため, 登録の要領を天気公告する。